

新生会看護部通信

2009.10.1 発行 第24号

フットケアの取組み

【金山クリニック フットケアプロジェクト委員 吉川 幸恵】

2007年、フットプロジェクトBが新生会で立ち上げられると同時に、金山クリニックでもフットケアを更に充実させるため委員会を設けました。最初の1年は、委員会の中での学習に力を入れ、2年目はプロジェクトBの指導マニュアルの完成に伴い、クリニック内のスタッフ・患者指導に取り組み、朝の患者全員のデータベースを取りました。

フットケアプロジェクト委員会のメンバー




活動報告

1. 1回/月の定例委員会の開催
2. 院内勉強会の実施 (スタッフ教育)
 - ①院外学習会に参加し、正しい爪の切り方の伝達講習とNs間での実技演習②フットケアの運用方法について、統一した観察ができるように講義③ABI測定の結果やフットチェック回数など、2008年度のフットチェック報告の実施
3. 患者への啓蒙
 - ①『フットチェックのお知らせ』のポスターをエレベーター内と患者待合室掲示板に掲示 ②患者会でフットケアの必要性について講義(09年7月実施、参加人数:患者40名家族2名)
4. 活動実践
 - ①朝の患者全員を対象にデータベース実施(今後はデータベースを2回/年実施)②フットケアの継続

フットケアの実践とポイント 特殊な器具を紹介!

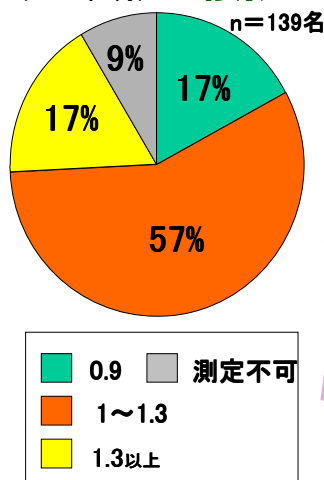
【糖尿病療養指導士 外来主任 佐久間 恵巳】

 <p>バケンスキー型打鍵器</p>	<p>アキレス腱検査 糖尿病神経障害の検査で、糖尿病性多発神経障害の簡易診断基準の項目の1つ。</p>
 <p>音叉 C128</p>	<p>振動覚検査 深部感覚を調べる検査・強くたたいて振動させる。内果に当て、感覚がなくなるまでの時間測定。</p>
 <p>モ/フィラメント5.07</p>	<p>知覚神経検査 知覚神経鈍麻の有無を調べる検査で、皮膚の感覚レベルをチェック。</p>
 <p>コーンカッター</p>	<p>胼胝・角質の除去 軽く、握り、厚みを触りながら少しずつ削る。削る方向を変える。</p>
 <p>ハシモンテ</p>	<p>爪周囲のゴミの除去 えんぴつを持つように握り、つめの皮膚の間のたまった角質を除去。甘皮は取り除かないこと</p>

フットケアで大切なことは、足病変を起こさないことです。そのためには、自分の「足」に関心を持つこと。毎日自分の足を診て触って観察することが必要です。

看護師の患者様への働きかけがフットケアにおける「看護師の役割のひとつ」と言えます。

当院の朝の患者のABI結果 (2009年7月) ABI結果



啓蒙ポスター

8月よりフットチェックを順次全員に行います。ご協力をお願いします。

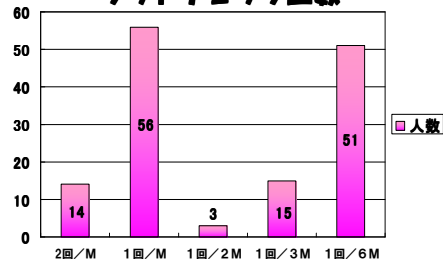


あなたの足は大丈夫ですか？
足病変になるおそれがないかどうかチェックしてみましょう。
フットケアプロジェクト委員会
2008年7月

フットケアの継続状況 (2009年7月)

フットチェック回数

n=139名





看護安全シリーズIII



★体重測定ミスによる影響★

【鳴海クリニック 大友 正子】

体重測定ミスの影響として過除水や除水不足があります。ミスが起こると過除水による脱水状態や除水不足による心不全など生命にかかわる状況に陥ることになります。

当院でも体重計の下にTWテープのロールが挟まっており、数人の患者様の体重に誤差が生じたことがありました。体重計を過信せず正しい値かどうかを確認する必要性を感じました。また、当院には車椅子が11台あり、車椅子の重さが異なる為、できるだけ同じ人に同じ車椅子を使用してもらうようにしています。しかし、同じ車椅子がない時に違う車椅子に乗って体重測定をしてしまい、風袋が異なり体重測定ミスを起こすことがあります。そこで、ペットボトルに水を入れ、車椅子のポケットに入れて重さを統一しました。他にもパジャマやスリッパの変更がないか、開始前の体重測定時に看護助手がチェックしており、患者様からもパジャマやスリッパなど変更した時は自己申告してもらっています。



＜鳴海クリニックでの体重測定ミスの対策＞

- (1)透析クール前に、1ℓペットボトルを測定して体重計の誤差がないことを確認する。
- (2)施設内車椅子の重さを同一にするため、車椅子ポケットにペットボトルを入れ調整する。
- (3)透析開始前の体重測定時、風袋(パジャマ・履物など)の違いがないかを確認をする。



(1)



ペットボトル

(2)



ペットボトル

(3)



「主任が心動かされた本」の紹介 ~PART5~



主任が選んだ今回の1冊！！

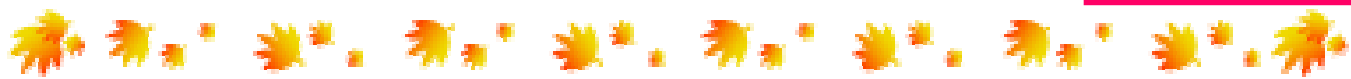
【新生会第一病院 血液浄化センター主任 西谷 佐智子】

『あなたに奇跡が舞い降りる50の方法』

- 著者：原田真裕美
- 出版社：PHP研究所

この本は確か、自分が少し疲れているときにコンビニで購入したものだと思います。『奇跡』という2文字がきっと自分を異空間に連れて行ってくれるだろうと期待したのでした。

著者は原田真裕美という予知能力のあるサイキック・カウンセラーで『魂』という言葉をよく使います。私も近親者の死を経験したりして、以前は人の精神や心が大切と思っていましたが、最近では、『魂』スピリチュアルに寄添い、自分もまた自然体でありたいと考えています。考え方や捉え方を少し変えてみるだけで、こんなに『奇跡』を起こせるということがわかります。



【ホスピター透析E-Lプロジェクト】よりお知らせ



e-ラーニングと

【東海知多クリニック 横内 雄子】

パソコンのネット機能を用いて自己学習ができるシステムです。時間を有効に活用し、自分の弱点の補強、反復学習による知識・技術の習得が容易になります。マニュアルに沿った統一した指導が受けられるなどのメリットを活かし人材育成に活用することができます。新人から中堅クラスまで幅広く自己学習できる場を提供することで、個々のスタッフの育成、組織力の強化、医療の質の向上に貢献できます。

1. 使用方法

- 1) インターネットを開き、アドレスを入力しましょう。<http://192.168.11.224/el>
- 2) この画面が表示されます。



* 開始終了操作を確認したい場合は開始終了操作をクリックすると右の画面が表示されます。確認したい項目を選択すると具体的に学習することができます。

2. 学習内容

- 1) 新生会主催の学習会や業者主催のビデオ学習を再度学習することができます。
 - 2) 透析医学会や腎不全看護学会等で発表したホスピターグループの内容を確認することができます。
 - 3) 看護手順・基準などを学ぶことができます。
- 豊富な内容で更新しております。カンファレンスの時間や休憩時間などを活用して学習しましょう。

* E-ラーニングプロジェクト委員は月1回の委員会を通じ、透析の専門的知識・技術の向上を目指しさまざまな企画や活用方法を検討しております。今後取り入れてほしい学習内容や知りたい内容など募集中です...

各委員までご連絡ください。

いきいきナース

楽しく更年期を過ごすコツ

【新生会第一病院 病棟師長 佐々木しのぶ】

プラスに考え方を転換していきいきと生活している、

Q：更年期症状は？

新生会第一病院の病棟師長の佐々木しのぶさんをご紹介します。

A：50歳の誕生日に眼底出血、その後は頭痛・ホットフラッシュ・ヒステリー球・肺炎・更年期うつ？・五十肩・蕁麻疹・肥満などなど

Q：更年期症状の対処方法は？

A：雪崩のようにやってきた症状で、自分の身体が自分でわからなくなり、ヒステリー球と診断された時、頭（今までの自分）と身体を切り離そうと考えました。たとえば、

①ヒステリー球→ストレス過多のバロメーター→アロマ・入浴方法でリラックス

②ホットフラッシュ→天然の岩盤浴→デトックスでさっぱり。暑いので冬場の暖房代が減ってお得感もあり♪

③五十肩→リハビリで超気持ちが良い経験ができた、など。特に、アロマと入浴は今では不可欠なものになり、身体に「今日はどれにしたい？」と聞きながら手作り石鹸やハーブで作った入浴剤や化粧水を使うのは日々の自分にご褒美という感じです。考え方一つで感じる風景まで違ってきますよ。

様々な症状を受け止め、ありのままに付き合っていく姿に勇気をもらいました。



お気に入りの入浴グッズ

